

【会議録】

会 議 名	第1回港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年4月8日（金）午後7時00分から午後7時50分まで
開 催 場 所	みなと保健所5階会議室3・4
出 席 者	出席者 5名 吉田委員長、緑川委員、小宮山委員、太田委員、野上委員 欠席者 なし
事 務 局	みなと保健所健康推進課長、地域保健係長
会 議 次 第	1 開会 2 委員紹介 3 委員長の選出 4 報告事項（事務局） がん在宅緩和ケア支援センターの概要について 5 審議事項 （1）公募要項（案）について （2）選考基準及び選考方法について （3）その他 6 事務連絡等 7 閉会
配 付 資 料	（席上配布資料） ・港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会委員名簿 ・港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱 ・港区立がん在宅緩和ケア支援センター（ういケアみなと）リーフレット 資料1 港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者公募要項 資料2 様式1～28、様式A～D（案） 資料3 業務基準書（事業一覧含む） 資料4 選考採点表（第一次審査）（案） 資料5 選考採点表（第二次審査）（案）

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
事務局	1 開会 (開会の挨拶)
	2 委員紹介 (各委員から自己紹介)
事務局	3 委員長の選出 港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱の第5条2項の規定により、委員長は委員の互選により選出します。
B委員	吉田委員を委員長に推薦します。 (委員一同、異議なし)
事務局	港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱の第5条3項の規定により、副委員長はみなと保健所長にお願いします。
委員長	4 報告事項(事務局) がん在宅緩和ケア支援センターの概要について (事務局より報告) 質問意見等ありますか。 (委員一同、異議なし)
委員長	5 審議事項 (1) 公募要項(案)について (2) 選考基準及び選考方法について 【(1)と(2)は一括審議】 (事務局から配布資料について説明)
事務局	公募要項の発表後、概ね1ヶ月半で選考書類を送ってもらう流れになりますが、これは一次選考を行った上で二次選考という流れですか。
E委員	おっしゃる通りです。 1点目、現在港区は「地域包括ケアシステム」と言い切らずに「地域包括ケア」と用語を統一しています。区の利用の使い方は統一してください。2点目は公募要項の「(2)安全・安心に関する業務」について、新型コロナウイルス感染症対策は今日的課題のため、当該事項に加味した方が良いと思います。
事務局	1点目について、「地域包括ケア」に統一します。2点目、新型コロナウイルス感染症対策について加味します。
E委員	資料2提案様式の「安定運営の取組」については欄外に「本様式は、A4判3枚以内」として文字のフォント「BIZ UDP 明朝 Medium 11ポイントで入力」とあります。一方で欄外に何も記載していない様式や、「A4判2枚以内としてください」と記載している様式もあるので、全提案様式で統一したほうが良いと思いました。また、フォントサイズも11ポイントより12ポイントの方が標準的に見や

事務局 E委員	<p>すいと思うため簡潔で見やすいプレゼンテーションにさせていただく趣旨から、12ポイントのUDフォントで枚数は制限内に作成して欲しいことを全ての様式に揃えた方がいいと感じます。</p> <p>自由記載の欄を含めて欄外の記載を統一し、フォントは12ポイントとします。</p> <p>選考採点表について、業務の実績や資金計画については、ある程度の基準のもと事務局による自動採点が可能な項目だと思います。また、二次審査の選考採点表について、がん患者や患者を支える方々を温かく受けとめるというホスピタリティに関する要素を審査ポイントに紐づけても良いと思います。</p>
事務局	<p>1点目、業務の実績や資金計画について、事務局採点とするよう検討します。2点目、事務局としては、指定管理者の適性と意欲に関する項目でホスピタリティ性を入れていますが、各委員がそのような視点で審査できるように工夫します。</p>
委員長	<p>事業者を選考する際の選考の目安は一次審査、二次審査それぞれの満点の60%を最低ラインとすることでよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>(委員一同、異議なし)</p> <p>一次審査、二次審査それぞれの満点の60%を最低ラインとします。</p>
	<p>(3) その他 (事務局から説明)</p>
	<p>6 事務連絡等 (事務局から説明)</p>
	<p>7 閉会 (閉会の挨拶)</p>

【会議録】

会 議 名	第2回港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年6月17日（金）午後7時00分から午後8時25分
開 催 場 所	みなと保健所5階会議室3・4
出 席 者	出席者 5名 吉田委員長、緑川委員、小宮山委員、太田委員、野上委員 欠席者 なし
事 務 局	みなと保健所健康推進課長、地域保健係長
会 議 次 第	1 開会 2 報告事項（事務局） （1）公募説明会及び応募状況について （2）財務状況分析結果について 3 選考審査 （1）第一次審査（書類審査） （2）第一次審査通過者の決定 4 その他 事務連絡等 5 閉会
配 付 資 料	（席上配付資料） 資料1 公募説明会及び応募状況について 資料2 財務状況等分析報告書 資料3 資金計画分析報告書 資料4 選考採点結果表（第一次審査） 参考資料 港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者 選考委員会設置要綱 参考資料 第一回選考委員会会議録（案）

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
事務局	<p>1 開会 (開会の挨拶)</p> <p>2 報告事項(事務局) (1) 公募説明会及び応募状況について (事務局から資料1について説明)</p>
委員長	質問意見等ありますか。
E委員	公募を行った結果1法人でした。1法人の応募だけであった理由の分析等を行ったほうがいいと思います。
B委員	問い合わせの件数を教えてください。
事務局	<p>4月11日にホームページで公表後1ヶ月近く申し込み受付期間がありました。その間はホームページだけではなく、がんの関連する団体、がんの診療連携拠点病院にも個別で周知しました。4~5件程反応がありました。</p> <p>(2) 財務状況分析結果について (坂本公認会計士より資料2、資料3の説明)</p>
委員長	質問意見等ありますか。
B委員	世界的にコロナに見舞われ、非常に特殊な3年だと思います。コロナ禍で、この事業者の売上が3年間年々上がっていますが、コロナによる特需や補助金は売上高に含まれていますか。営業利益自体は年々増しているわけではない中で、評価が難しいと思いますが考えを教えてください。
公認会計士	確かにコロナの影響は業界によって変わります。利益的なものは目立って見受けられなかったので、影響は少ないと思います。結果としては問題ありません。
E委員	分析の中で収益性と安全性についてポイントとしていますが、特に総資産回転率と安全性部分の剰余金比率が低い理由と法人の性質によるものなのか教えてください。
公認会計士	法人の性質によるところが一番大きいです。特に収益性に関しては主に2点。売上高の利益率と資産です。売上高の利益率についてこの法人はそもそも利益を出すことを重視していません。上場企業と異なり基本的に利益を目的とする方針を掲げていません。人、資産、固定資産を多く抱えて運営するような所は売上比率に対して利益が出づらく、どうしても利益率が低く出てしまいます。総資産に対する利益率も同じことですが、業種によって利益率が変わるところがあります。安全性は優れています。
D委員	5億円以上の経常利益があればA評価となる理由を教えてください。
公認会計士	様々な業種を見ても5億円以上利益を出す会社は大きく優れた会社と考えます。ただし、あくまで財務的に見た視点のため、大きいところが良い運営をしてくれるのかは全く別だと思います。切り取って見るとA評価になります。

	<p>3 選考審査</p> <p>(1) 第一次審査(書類審査)</p> <p>(事務局から資料4について説明)</p>
委員長	<p>審査項目3、4につきまして指摘はありますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>審査項目5について質問意見等をお願いします。</p>
E委員	<p>計画書類の実績についての記載は良いと思いますが、各提案に関する考え方を尋ねていることに関しては平均に近い回答であったため、もう少し具体的な記載が欲しかったです。責任者の配置計画については、病院勤務の経験は豊富ですが、管理監督業務の経験が浅いと感じました。適切な労働環境は確保されていると思います。</p>
D委員	<p>利用者の安全・安心の確保の考え方は、標準的であると感じました。事業に必要な専門職は充実しており、人材も豊富であると思います。</p>
C委員	<p>指定管理者としての目的をしっかりと掲げており、意欲が感じられました。苦情解決及びサービス評価の取組、顧客満足度への具体的な取組は、港区の介護事業所向けの取組も開催していただけると有難いです。</p>
B委員	<p>これまで積み重ねてきたものに甘んじず、さらなる発展への抱負を評価しました。また、職員の確保・育成についても厚みのある、研修・育成体制を評価しました。</p>
A委員	<p>がん患者や家族だけではなく、関係団体や職域との協働を含めた豊富が記載されており評価しました。また、現状に留まらない新たな取組への意欲を感じました。看護職、ソーシャルワーカーだけではなく、経験のある医師の配置がある点は評価できると思います。経験豊かな責任者の配置については、捉え方が難しく、専門職をまとめる立場を考えると事務職で様々な経験があることを重視しました。</p>
委員長	<p>他に審査項目5「管理運営計画に関すること」について、追加や意見はありますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>次に、審査項目6「効率的で質の高いサービスの提供」について意見ををお願いします。</p>
E委員	<p>審査項目5と同様に、実績についての項目はしっかり記載されていると思います。がん患者や家族、地域医療関係者、一般の区民など様々な立場の人の参加や交流を促す取組が提案されていて評価しました。人材育成についても既にピアサポートが出来る体制にあることは評価します。ただ、広くピアサポーターの担い手を発掘する取組が欲しかったです。全体として指定管理者としておまかせするに足る事業者だと感じています。</p>
D委員	<p>がん教育事業の提案について他自治体との連携が何も書かれていないことが気になりました。また、オンライン事業についても現状に満足せず、創意工夫のある提案が欲しいと感じました。がんの医療相談、がん在宅緩和ケアに係る相談体制や区のがん対策事業、在宅緩和ケア事業の連携強化については、優れた提案であると評価しました。</p>
C委員	<p>現在行っている取組に関しては良いと思います。がんの相談内容については、地域で出来る取組についてフィードバックしていただけるような取組をお願いした</p>

B委員	<p>いです。がん教育については、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、出来ることについて取り組んでいると思います。</p> <p>実際に行っているからこそ、出来るところ出来ないところが分かっている部分も含めて点数を付けました。配偶者やパートナーを亡くした方、男性等、対象者を限定したカフェの開催は大変良いと思います。8月から開設する福祉総合窓口との連携も検討していただきたいと思います。</p>
A委員	<p>A Y A世代に対応しているところは、意欲的な取組であると思います。単に対象者が若いというだけではなく、関係団体、大学、学生なども含めた総合的なものであると感じました。また、がんの相談体制については、患者の状態や背景に応じた柔軟な体制が確保されていると思います。がん教育への取組は、先進的なものもありますがさらに工夫が必要と感じました。</p>
委員長	<p>他に意見はありますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
事務局 委員長	<p>(2) 第一次審査通過者の決定 (事務局から採点結果の発表)</p> <p>採点の結果、A事業者は727点であり、満点の6割以上ということですので、第一次審査通過でよろしいですか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>A事業者を第一次審査通過とします。</p>
事務局	<p>4 その他 事務連絡等 (事務局から第3回委員会開催日について説明)</p> <p>5 閉会 (閉会の挨拶)</p>

【会議録】

会 議 名	第3回港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年7月1日（金）午後7時00分から午後8時15分まで
開 催 場 所	みなと保健所5階会議室3・4
委 員	出席者 5名 吉田委員長、緑川委員、小宮山委員、太田委員、野上委員 欠席者 なし
事 務 局	みなと保健所健康推進課長、地域保健係長
会 議 次 第	1 開会 2 第二次選考審査 （1）第一次審査通過者によるプレゼンテーション及びヒアリング （2）採点 3 指定管理者候補者の決定 4 その他 （1）今後のスケジュール （2）事務連絡等 5 閉会
配 付 資 料	（席上配付資料） 資料1 第二次審査選考採点表 資料2 選考採点結果表（第一次審査） 資料3 A事業者プレゼンテーション資料 資料4 今後のスケジュール 参考資料 港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者 選考委員会設置要綱

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
事務局	<p>1 開会 (開会の挨拶) (事務局より配付資料の確認と説明)</p> <p>2 第二次選考審査 (1) 第一次審査通過者によるプレゼンテーション及びヒアリング (A事業者によるプレゼンテーション)</p>
委員長 E委員	<p>質問等お願いします。</p> <p>3点あります。1点目、認知度向上に向けた広報活動は、病院との連携で、がん患者に緩和ケアの場所についてダイレクトに伝えるチャンスがもっとあると感じました。電子媒体に頼るだけでなく、他の病院との関係性や大学病院、大学、区内のクリニックなど人との繋がりを重視した広報活動が行えると思いますかどのようにお考えでしょうか。</p> <p>2点目、個人情報の漏洩や危機が起きた場合に、御社として検討あるいは再発を防止する組織的な体制はありますか。</p> <p>3点目、独自事業の企画立案について、これまでの経験から考えたことがあれば教えてください。</p>
A事業者	<p>1点目、SNSや電子媒体を使った広報は今後も必要になると思いますが、これまで4年間事業を行い、人との直接の繋がりは大切だと実感しています。口コミから実際に、当施設を知っていただくこともあるため、人との繋がりを今後も大事にしていきたいと思います。病院、クリニック、地域の訪問看護ステーションとの繋がりは今後力を入れて取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>2点目、個人情報が漏洩した場合の検証体制については、母体が附属病院を要する大学であるので、附属病院における対策やノウハウを活用して対応することを考えています。</p> <p>3点目、独自事業についてですが、私どもの附属病院では、栄養部が中心となりレシピ本を監修して発行しています。「ういケアみなど」においても、がん患者を対象とした食事レシピを開設当初から作成しており、知見も蓄積されているので、レシピ本の発行等を独自の事業として立案できます。</p>
B委員	<p>3点あります。1点目、働き盛り世代に対するアプローチとして、御社が有する企業産業医ネットワーク等を使ってワークショップや講演会を開催するとのことですが、恐らく在勤者がメインになると思います。ターゲットは、どのあたりまで考えていますか。</p> <p>2点目、ピアサポーターの育成について考えを伺います。</p> <p>3点目、がん在宅緩和ケアについて、三師会や地域支援ネットワークを構築する提案がありました。年に何回位開催するか伺います。</p>
A事業者	<p>1点目、働き盛り世代の企業産業医ネットワークは、在勤者を主な対象とし、そこを足掛かりに区民にも広げていきたいと考えています。</p> <p>2点目、ピアサポーターに関しては、既にボランティアとして利用されている方</p>

D委員	<p>を対象として、ある程度活動を共にした方を対象にしていきます。共にプログラムを練り上げるピアサポーターの育成を検討しています。</p> <p>3点目、プレゼンテーションの中で、独自性の高い事業として「みやこの部屋」をご紹介しましたが、今年度から始めている企画で3回行う予定です。これは高橋都先生を案内人として、毎回がん在宅緩和ケア、在宅医療に携わっている先生若しくは看護師をゲストに招いて、がん在宅緩和ケアについて参加者と共に理解を深める企画です。独自性が高い理由は、リビングルームに居るような環境作りを行える点です。参加者と講師の相互のやりとりが生まれやすい、温かい雰囲気の中で地域の三師会の先生方に協力をいただきながら、開催回数を調整します。</p> <p>1点目、在宅の緩和ケア、地域包括ケアはなかなか上手く進んでいかない現状があります。在宅での最期を願っていらっしゃる区民に対し、御社はどのような支援ができると考えていますか。</p> <p>2点目、病院の相談窓口と本施設との違いをどのように捉えていますか。</p> <p>3点目、今年からHPVワクチンの接種が動き出したことから、港区としても子どものがん教育と連携して、ワクチン接種率向上を目指すことを考えています。特にHPVワクチンとがん教育との関係について御社はどのようにお考えですか。</p>
A事業者	<p>1点目については、現実には難しいシチュエーションがあります。願いが叶う根底には、自分が何を大切にこれから生活していきたいのか、自分の価値観は、他者の価値観は、何なのかという会話が日常的に繰り返されていく中に現状があるのではないかと感じています。私たちに出来ることは、アドバンスケアプランニングとしての取組や相談対応をしながらも、患者が大切にしたいことは何かを引き出すようなコミュニケーションを取ること、そのような些細なことを積み重ねていくことが最終的にその人の最期の希望に寄り添うことに繋がり、「ういケアみなと」としてできる支援の一つであると考えます。</p>
D委員	<p>ご家族の話し合いの中に第三者として入って、それぞれの希望を擦り合わせるということですか。</p>
A事業者	<p>地域の現場の中では恐らく訪問看護師や訪問員がそのような役割を担っているところもあるのかもしれませんが、「ういケアみなと」でも同様の相談を何度も経験しています。相談者の心情に寄り添いながら、ご家族に向けてアドバイスする機会もあります。2点目について、「ういケアみなと」では様々なイベントと同様に個別相談に重点を置いています。「ういケアみなと」で実際に行っている活動を、どのように地域の利用者に知ってもらうか、「ういケアみなと」の窓口をどのように使っていただくか、広報の取り組み方やニーズ調査、インタビューなどを行うことを検討しています。</p> <p>3点目については、現在小学校などリクエストがあったところの要望に対して参画している状況です。今後は、HPVワクチンの接種率向上に向けても、保健所と連携しながら、がん教育の促進に寄与していきたいと思えます。</p>
A委員	<p>2点あります。1点目、支援団体への支援について現在あまり目立つものがないように見受けられます。今後の計画として「ういケアみなと」を拠点とした支援団体に対する支援を検討する余地はありますか。2点目、次年度以降の予算の中でホームページのリニューアルが付けられています。先ほどワンストップでここに来れば全ての情報が集まるとのことですが、これまでの状況を見ると普通の人が見て、どこを探して良いのか分からない。がんに関する情報も結局他のホームペー</p>

A事業者	<p>ジを探さないといけないため、全部自分で行う必要はないと思います。例えば病院の力や団体の力を借りて、そこにリンクを貼るだけでも大分違い、その情報を入力しているだけでも良いかもしれません。今後ホームページを区民にとって見やすく、そしてワンストップで情報提供ができるような形にするために独自の考えがあって、このような予算を考えているのか具体的に教えてください。</p> <p>1点目、支援団体の件に関しては、現在「ういケアみなど」に登録している団体がいくつかあります。登録すると、「ういケアみなど」にある講習室を無料で使うことができます。オンラインが普及しているため、ハイブリッド型等も提案しながら、是非「ういケアみなど」に足を運んでいただき、空間を体感していただけるような働きかけを団体の方にしていきたいと思います。</p> <p>2点目、ホームページは今回600万円計上しましたが、5年経過しているため改修費用として考えています。先ほどご指摘がありましたように、外部とのネットワークの構築に関してはリンクを貼る手法も考えられるので、我々としてもその点は工夫しながら行っていきたいと考えます。</p>
	<p>(2) 採点 (事務局による集計結果の発表)</p>
委員長	3 指定管理者候補者の決定
E委員	<p>各委員から講評をお願いします。</p> <p>全体的に正直な事業者だと思いました。最終的には正直さと誠実さ、施設に対する愛着を感じたので、事業者としてお任せに足ると思いました。</p>
D委員	<p>大学の専門職、病院のソーシャルワーカー、オンラインを利用することは良かったです。私の質問に答えたときに個別相談に力を入れていることは私も一番だと思っているので十分と思いました。</p>
C委員	<p>病院の附属の強みを生かし、今後の課題として地域との連携、地域の訪問看護ステーション、他の介護事業所などと連携をしていきたいと課題を出したので評価しました。</p>
B委員	<p>既に持っているリソースを使うことは、非常に上手いと思います。リソースは豊富にありますが、ただ自分たちが持っていないものを他からどう借りるかが苦手だと感じました。皆様の発言と同じく、施設に対する愛着と誠実さを感じたのでお任せしたいと思いました。</p>
A委員	<p>港区内にリソースが豊富にあるので、今後うまく活用していくことに期待します。また、施設の課題点を十分理解しており、柔軟性を持って課題解決に取り組んでいく姿勢を感じ取れたので、今後の事業展開も合わせて期待したいと思います。</p>
委員長	<p>他に委員から質問意見等ありますか。 (委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>採点に変更がありましたら事務局で再集計になりますが、よろしいですか。 (委員一同、採点の変更なし)</p>
委員長	<p>採点の結果、A事業者の総合点数は1,063点で、第一次審査、第二次審査ともに満点の6割以上ということですので、A事業者を指定管理者候補者として決定します。</p>

事務局	(委員一同、異議なし)
	4 その他 (1) 今後のスケジュール (2) 事務連絡等 (事務局より説明)
	5 閉会 (閉会の挨拶)